



学校教育目標【自主】【寛容】【挑戦】

重点目標「目標の実現に向けて、自ら努力する生徒」

原町三中だより

南相馬市立原町第三中学校

学校だより 第1号

令和5年4月14日(金)発行

発行者 校長 和田節子

自ら学び、自ら行動する生徒に！

20名の新入生を迎え、令和5年度がスタートしました。入学式では、新入生一人一人が胸を張って堂々と入場。呼名された時も明るく大きな声で返事をしていました。特に感心したのは、**来賓の皆様からお祝いの言葉をいただくたびに丁寧に挨拶をしていた**ことです。入学式は卒業式と違って「打合せ」や「練習」ができません。緊張感の中で、一人一人が自分で判断し、行動したことを頼もしく思います。



校長からは、学校教育目標「**自ら進んで学ぶ生徒（自主）、明朗で思いやりのある生徒（寛容）、健康でたくましい生徒（挑戦）**」の実現に向けて、以前本で読んだことのある「ヘヤー・インディアン」の話をしました。主な内容は次の通りです。

「ヘヤー・インディアン」は、カナダの北西部、北極の近くに住む狩猟民族です。ヘヤー・インディアンの男子は、14、15歳になると大人たちに混じって狩りに出かけます。そして、いつの間にか上手にトナカイやシカを射止めるようになります。しかし、狩りには大きなリスクが伴います。一歩間違えば大けがにつながります。驚いたのは、この難しい狩りの方法を大人が子どもに手取り足取り教えるわけではないということです。それどころか、この民族の言語には「教える」とか「習う」という言葉が存在しないそうです。

では、子ども達はどうやって学ぶのでしょうか？ ①まず、大人のすることをしっかり観察し、手順を覚えます。②次に、大人達の作戦会議の場で集中して話を聞き、コツをつかみます。③そして実際に自分でやってみます。何度も失敗を繰り返し、どうすればうまくいくのか自分の頭で考えます。この試行錯誤によって、生きるために必要な力を身につけていくのだそうです。

これが「自ら進んで学ぶ」ということではないでしょうか。誰かが教えてくれるのを待つのではなく、自分から学びを取りに行く。間違えたり失敗したりしたら、やり直す。人に教えてもらったことは忘れても、自分で苦労して身に付けたことは忘れません。そしてそれは、生きて働く力となって心と体に残ります。原町三中で「自ら進んで学ぶ力」を身に付けていきましょう。



☆原町三中の仲間に加わりました。
どうぞよろしくお祈りします☆

校長 和田節子（再任用）

教務主任 松本一美（英語）

1年主任 志賀おり江（保健体育）

1年担任 櫻 雅貴（理科）

講師 矢吹千穂（家庭）

A L T キヤメル・キャピラル